



相生だより

1月号 令和6年1月9日
大田区立相生小学校
校長 山口 勝己

「ちょっとがんばってみよう」の気持ちで

校長 山口 勝己

新しい年、令和6年がスタートしました。「おはようございます」の元気な声と清々しい顔つきで登校してくる児童を目の当たりにし、幸先のよいスタートがきれたことを喜ばしく思います。

さて、12月の体育・健康教育授業地区公開講座の際に、ゲストティーチャーとして陸上長距離の元オリンピック 福士加代子さんに来ていただきました。当日は全校児童対象の講演、5・6年生対象の特別授業、そして放課後ランニングタイムへも参加していただき、児童にとっても、大変貴重な機会となりました。福士さんの講話の中で私が最も印象的だったのは、「どんなに相手が強くても、速くても一度は先頭に立ってみる」という言葉でした。一度、その景色を見ておくことで、たとえ遅れてしまっても、いつか再び、この景色を見ようとがんばろうとする意欲やいざというときの自信と勇気になる。私は、言葉の意味をそのようにとらえるとともに、これは走る以外にも当てはまるのではないかと思いました。

12月に行った児童アンケートの結果によると本校児童の自己肯定感（自分にはよいところがある）に関する肯定的な回答は、およそ8割でした。現在、本校で実践している研究は、この部分の評価を高めることを大きなポイントにしています。2学期の始業式では、子どもたちに、「できそうなことをちょっとだけ、がんばってみようか？」と話しました。書き初めの練習をがんばって、一字だけでも心を込めて書いてみる。漢字の小テストの練習をちょっとがんばって全問正解してみる。掃除をちょっとがんばって周りをきれいにしてみる。短縄の練習をちょっとがんばって、目標回数をクリアする。いつもすべてをがんばろうとすることはなかなか難しいかもしれません。でも、ちょっとだけがんばってみて、小さな目標を達成し、少しいい気持ちになったり、達成感味わえたりすることで、「自分にはできる。」「またがんばってみよう。」という気持ちももてるようになる。そんな、取り組みを積み重ねていきたいと思えます。

2月5日には、本校が2年がかりで取り組んできた、研究発表会が開催されます。これは、道徳、特別活動、体育科の授業を通して自己肯定感と他者肯定感を育んでいく研究となります。教育関係者を対象とした会となりますので、保護者・地域の皆様の参加はご遠慮いただいておりますが、別の機会にお伝えできるよう検討いたします。

新しい年、令和6年もよろしくお願ひいたします。

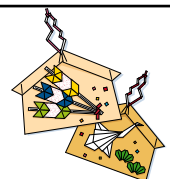
1月の行事予定



日	曜	行事予定	補習	SC
1	月	元旦		
2	火			
3	水	学校閉庁日終		
4	木			
5	金	冬季休業日終		
6	土			
7	日			
8	月	成人の日		
9	火	始業式 午前授業		○
10	水	午前授業 給食始 安全指導 書初め会		
11	木			
12	金	計測6年		
13	土			
14	日			
15	月	全校朝会 計測5年 委員会 書初め展始		
16	火	避難訓練 計測4年		
17	水	午前授業		○
18	木	たてわり班活動 計測3年		
19	金	計測2年		
20	土	土曜授業3時間		
21	日			
22	月	全校朝会 クラブ 計測1年 短縄週間始		
23	火			
24	水	児童集会 書初め展終		
25	木			
26	金	5時間授業		
27	土			
28	日			
29	月	全校朝会 クラブ	3	
30	火		4	
31	水	音楽朝会 午前授業		○

各行事等の予定については、今後変更になることも考えられます。御了承ください。

1月の生活目標



気持ちのよいあいさつをしよう